



2008-09



国際ロータリーのテーマ「夢をかたちに」 会長/李 東建(韓国、ソウル)
 2620地区のテーマ「楽しく魅力あるロータリーを目指して」 ガバナー/牧田 静二(静岡RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「情熱を内に、パワーを外へ」 会長/高木 一浩

週報

第279回例会 11月4日(火)AM7:30 ~ 8:30 オークラホテル4F平安の間
 司会:富田清志 点鐘:高木一浩 ロータリーソング:夢のみずうみ
 ゲスト:堀越徹哉様(0-列-財団奨学生), Mr. Peter T Coper (GSE), Mr. Nicholas M. Allen (GSE)
 ビジター:安藤幸史様(浜松南RC)

会長挨拶

今月初めからGSEのみなさんが浜松に来ています。そして、3日からはホームステイが始まりました。仲秋さんのところにニックさんが、私のところに、ピーターさんが滞在中です。このプログラムはみなさんの会費の中から寄付している、ロータリー財団の中の研究グループ交換プログラムになります。我々のお金が有効に使われているところを確認できるいい機会だと思います。5日はパワーが1日GSEのメンバーを案内することになっています。市役所や中日新聞、小粥さんの工場など盛りだくさんの予定です。

幹事報告

配布物:ロータリーの友 11月号 当クラブの例会変更時のビジター受付の対応において、他のクラブの方よりお叱りを受けました。今後はメンバーが受付に立会いを行う事としました。立会いを行った方は、メイクアップ対象です。記念例会には多くの方の出席を頂き有難う御座います。100%にはなれませんでした。運動会も是非、出席をお願い致します。

GSE受入が11月5日あります。浜松市役所 ブローチ研削工業 昼食(知久屋) 中日新聞です。メンバーの参加希望の方は幹事までご連絡下さい。

ゲスト挨拶

GSEとして、来日中の



Mr. Nicholas M. Allen



ビジターの浜松南RC安藤幸史様



Mr. Peter T Coper



出席報告

96名中56名58.33%
 前々回修正出席率90.63%

スマイル報告

原田道子:昨夜は0-列-財団奨学生の堀越さんを囲んでメンバー達と食事会を開催。本日の卓話ともどもお疲れ様。希望の大学に行かれる様お祈りしながら今後の将来に期待しています。

坂井光蔵:昨夜は堀越さんを囲んで楽しい一夜を過ごせました。中東状況から国内問題まで様々な話を聞き、今後の経営に活かしていきます。

田中敏夫:年賀葉書発売中。また、お歳暮の時期です。クリスマスギフトや福袋なども乗っているカタログを受付に用意しました。

塚田恭民:オークラホテルの味をご家庭で又、お世話になった方々へ感謝の気持ちとしてご利用頂きたくおせちなどの商品をご用意させて頂きましたので、ご用命下さい。

ハッピーバースデー

稲野清治:8月9日
 近藤雅彦:10月23日
 林竹計:10月30日
 未広さくら:10月24日





2008-09



国際ロータリーのテーマ「夢をかたちに」 会長/李 東建(韓国、ソウル)

2620地区のテーマ「楽しく魅力あるロータリーを目指して」 ガバナー/牧田 静二(静岡RC)

パワー浜松ロータリーのテーマ「情熱を内に、パワーを外へ」 会長/高木 一浩

議事卓話

ロータリー財団奨学生 堀越徹哉様 「奨学生としての抱負およびエネルギー問題について」

財団プログラム部会 鈴木勉会員 挨拶

本日は、三井物産の堀越徹哉さんから卓話をいただきます。堀越さんは来年の7月より、ロータリー財団の奨学生として、アメリカかイギリスに留学します。目的は勉強だけでなく、ロータリーの親善大使という大事な仕事も担うこととなります。

卓話

現在、三井物産でアラブ首長国連邦においてLNGを生産して、日本に持ってくるというプロジェクトを担当しております。その業務を通じて、将来日本のエネルギーは大変なことになると感じて、これからエネルギーを守っていくにはどうしたらよいのかと考えるようになりました。それは、国際的な視野が必要であり、そのミッションはロータリークラブの考えに合致していると思い、今回ロータリー財団奨学生の希望をいたしました。

エネルギーには、石油、天然ガスだけでなく、石炭、原子力、水力、風力などがありますが、本日は、その中の石油と天然ガスの問題について話をさせていただきます。エネルギーがいつなくなるかは誰も分かりませんが、分からない中、トレンドを読んで、将来に向けてどうするのかを考えいかななくてはなりません。世界の石油消費量は年間300億バレルです。大体、1秒あたり1000バレルです。2007年末で1兆2379億バレルの確認埋蔵量といわれています。これは約40年分となります。何年も前から、後30 40年と言われていてあまり変わりません。これは、これまで発掘が難しい所が発掘できるようになったり、精製技術の向上によって、取れる量が増えてきているためです。これからは、埋蔵量よりも生産量の方が問題になってきます。ただし、石油には流動性が高い商品ですので、日本だけが調達に困るという事態にはならないと思います。

次に天然ガスについてお話しします。天然ガスは石油と決定的に違うのが気体ということです。そのために輸送コストが極端にかかります。石油は極端なことを言えば、バケツで運べますが、天然ガスはパイプラインの敷設または液化(LNG)が必要です。そのために、そのほとんどは国内または近場で消費されます。そのために天然ガスには国際価格というものはありません。現在、世界のLNG需要2億tのうち6000 7000万tが日本で使われています。ただし、アメリカ、中国、インドの需要が急増していきまして、2020年には4.5億tの需要が予想されています。日本の電力は原子力推進していく形ですが、原発事故によって、火力発電に使われるLNGの確保も必要になってきています。

<講師プロフィール>

1981年生まれ、浜松北高校、東京大学を卒業後、三井物産(株)に入社。

現在、アラブ首長国連邦でLNG(液化天然ガス)開発関連の業務に携わっており、ドバイ、アブダビを始めとする中東の都市ともコネクションがあります。

